

目次 CONTENTS

提言要旨	1
第1章 はじめに	2
「地震の多い国土の日本」	
第2章 現状分析	2～5
1 今後発生が予想される巨大地震	
2 東日本大震災以降変化した住民の防災への関心	
3 不足する住民の防災知識と防災意識	
第3章 課題の抽出	5～9
1 「自助」「共助」「公助」の定義	
2 「自助」「共助」「公助」の役割と「自助」の重要性	
(1) 「自助」に関する現状と課題	
(2) 「共助」「公助」の限界と制約	
3 「自助」の重要性	
4 課題の整理	
5 自助を実効あるものとするための防災教育の重要性	
第4章 政策提言	10～13
提言1 学校における防災教育指導方針の制定	
提言2 学校教育における“防災科”の新設	
第5章 おわりに	14



防災知識・意識の向上がわがまちを助ける ～自助・共助・公助～

【現状分析】

地震の多い国土の日本。今後30年間にマグニチュード6以上の地震が50%以上の確率で、全国7箇所において発生すると予想されている。地域住民の地震災害に対する恐ろしさ、防災に対する関心が高まっていることは、住民意識調査からもうかがい知ることができる。

しかし、防災にむけた具体的な行動を起こしている住民は、まだ半数程度である。

防災知識・意識が高まれば、必ず自分や家族の生命を守るために何か行動を起こすはず……。

なぜ、このギャップを感じるのでしょうか。

【課題の抽出】「自助」（自分の身は自分で守る）の観点

- 1 防災に関する知識の低さ
- 2 防災に関する意識の低さ
- 3 防災に関する行動力の低さ

【政策提言】継続的な防災教育の推進

1 学校における防災教育指導方針の制定

- ・防災教育を通じて、「命を守る」「互いの命を尊重し合う」ということを学び、子どもたちの“地域を愛する心”“周りへの思いやりの心”を育てる。

2 学校教育における“防災科”の新設

- ・学校での防災教育の充実及び継続が、「自助」の向上につながる。
- ・子どもを中心とした防災訓練の実施

【政策提言による効果】リスクマネジメントにおける「自助」「共助」「公助」

継続的な防災教育を推進することにより、防災に関する知識・意識を高め、災害から身を守る行動力を身に付け、ひいては、共助への連携につなげていく。そして、行政機関等の包括的な公助により、自然災害に向けたリスクマネジメントを構築する。

防災知識・意識の向上がわがまちを助ける!!!